

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

2022/4/28

りそなホールディングス 市場企画部  
りそな銀行 国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し

※各マーケットコメントは4月28日（木）9:00現在  
※休日の実績は前営業日

|                                  |                                  | 4月27日現在<br>(矢印は3月末比) | 5月の予想             |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|-------------------|
| USD                              | ドル・円 (円)                         | ↗ 128.43             | ↗ 123.00 ~ 133.00 |
|                                  | 内外金利差の拡大を背景とした円安圧力と高値警戒感の綱引き     |                      |                   |
| EUR                              | ユーロ・ドル (ドル)                      | ↘ 1.056              | ↘ 1.02 ~ 1.12     |
|                                  | ユーロ・円 (円)                        | ↗ 135.61             | ↗ 132.00 ~ 142.00 |
|                                  | 目先は対ドル下落圧力も、ECB正常化期待が高まるなか底入れを模索 |                      |                   |
| GBP                              | ポンド・ドル (ドル)                      | ↘ 1.255              | ↘ 1.23 ~ 1.27     |
|                                  | ポンド・円 (円)                        | ↗ 161.07             | ↗ 157.50 ~ 165.00 |
|                                  | 米国との相対的な経済見通し劣勢でポンド売りは継続         |                      |                   |
| AUD<br>NZD                       | 豪ドル・円 (円)                        | ↗ 91.52              | ↗ 89.00 ~ 95.00   |
|                                  | NZドル・円 (円)                       | ↘ 84.03              | ↗ 82.00 ~ 87.00   |
|                                  | 中国景気先行懸念後退でオセアニア通貨は対円で再び騰勢を強める   |                      |                   |
| 株式<br>相場                         | 日経平均 (円)                         | ↘ 26,387             | ↘ 25,000 ~ 28,000 |
|                                  | 海外株価の軟調推移や“悪い円安”論が日本株の上値を押さえる    |                      |                   |
|                                  | NYダウ (ドル)                        | ↘ 33,302             | ↘ 32,000 ~ 35,000 |
| FRBの金融引き締め加速やウクライナ情勢長期化が株式市場の重石に |                                  |                      |                   |
| 長期<br>金利                         | 日本 (%)                           | ↗ 0.246              | ↘ 0.15 ~ 0.25     |
|                                  | 日銀は「連続指値オペの運用の明確化」で事実上の金利抑制策強化   |                      |                   |
|                                  | 米国 (%)                           | ↗ 2.832              | ↗ 2.60 ~ 3.10     |
| FRBの引き締め加速で上昇圧力。物価指標への注目度が一段と高まる |                                  |                      |                   |

## ◆ 今月の注目ポイント

### 中国ゼロコロナ政策の展開でマーケットに振れも

| テーマ      | 注目度 | 今月の注目ポイント                                                                                                                                                                                |
|----------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 景気<br>動向 | ◎   | 【中国ゼロコロナ政策】足元のマーケットではウクライナ情勢に加えて、中国のゼロコロナ政策に伴う景気停滞リスクが意識される。従来は一部の都市に留まっていた都市封鎖が拡大・長期化することによる中国経済の腰折れがまず意識されるが、グローバルへの影響としては新たな供給制約によるインフレ上振れ要因という側面も強いだろう。今後の展開次第でマーケットの反応は見通しづらく注意が必要。 |
| 金融<br>政策 | ◎   | 【5月FOMC】日本GW中の5/3-4に米国FOMCが開催される。通常の2回分となる0.50%の利上げや、QT（量的縮小）開始のアナウンスが想定される。国内休暇中にマーケットの変動が大きくなる可能性があり注意が必要。また、5/11に発表される4月CPIで米インフレ動向に落ち着きがみられるか注目される。                                  |
| 政治       | ○   | 【日本・追加経済対策】政府は原油高等に対応した経済対策を取りまとめ、一定の景気下支えとなろう。また、一層円安に振れた場合の、円安介入の可能性について当局者発言等から見極め。                                                                                                   |

## ◆ アジア通貨見通し

|       |                 |       |                |
|-------|-----------------|-------|----------------|
| 人民元・円 | ↗ 19.20 ~ 20.00 | ルピー・円 | ↗ 1.65 ~ 1.75  |
| バーツ・円 | ⇒ 3.50 ~ 3.85   | ウォン・円 | ⇒ 9.70 ~ 10.30 |
| ルピア・円 | ↗ 0.870 ~ 0.910 |       |                |

## ◆ 今月の重要日程

|          |                   |          |                 |
|----------|-------------------|----------|-----------------|
| 2日(月) 米  | 4月ISM製造業          | 16日(月) 中 | 4月生産・小売・投資      |
| 4日(水) 米  | 4月ISM非製造業         | 18日(水) 日 | 22/1QGDP (1次速報) |
| 4日(水) 米  | FOMC <結果発表>       | 20日(金) 日 | 4月CPI           |
| 5日(木) 英  | BOE金融政策委員会 <結果発表> | 24日(火) 欧 | 5月PMI           |
| 6日(金) 米  | 4月雇用統計            | 25日(水) 米 | FOMC議事録 (5/3,4) |
| 11日(水) 米 | 4月CPI             | 31日(火) 中 | 5月PMI           |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

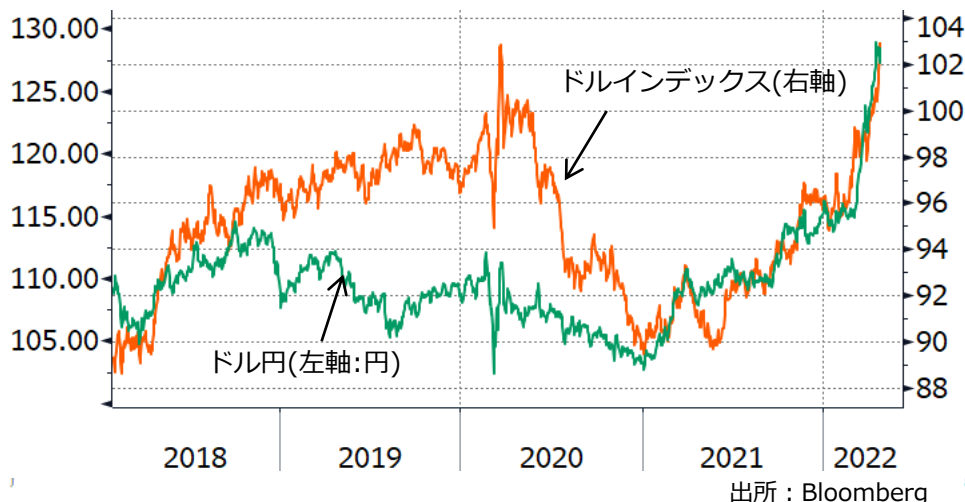


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ 今月の相場見通し① 為替 (ドル・ユーロ)

### ドル 円



米ドル円



ドル円は上昇

123.00 – 133.00円

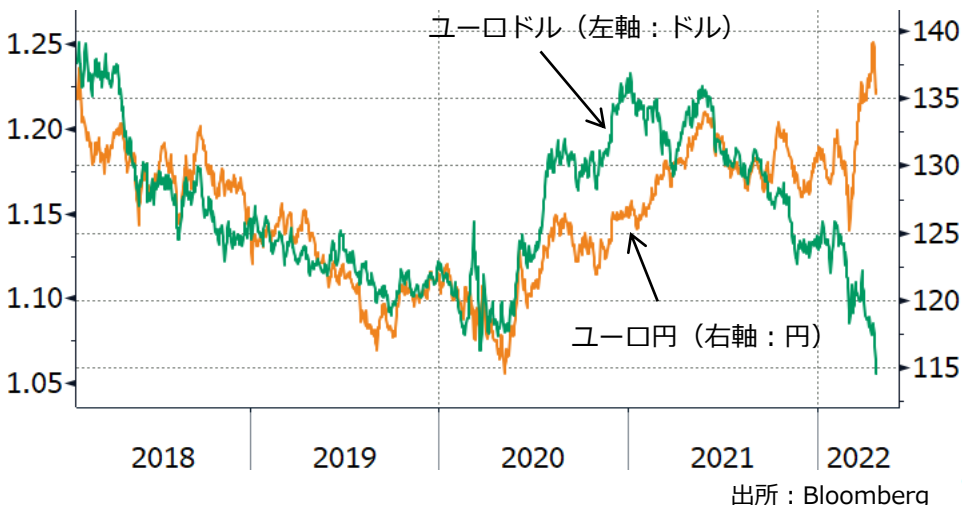
#### 内外金利差の拡大を背景とした円安圧力と高値警戒感の綱引き

4月のドル円相場は前月に引き続いてほぼ一本調子の上昇となり、一時約20年振りとなる129円台半ばまで上昇する場面もあった。国内外の金融政策較差が一段と鮮明となったことが背景。

2015年以来マーケットで「黒田ライン」として意識されていた125円台半ばを上抜けたことで、一段と上昇圧力が高まった。急速な相場変動に対して政府からは「悪い円安」との指摘も強まっている一方、日銀は「連続指値オペの運用の明確化」を実施し、長期金利の上昇を抑制する方針の更なる明確化を行っている。FRBが0.5%幅での利上げや早期のQT（資産縮小）開始を決定することが確実視されるなかで、引き続き日米金融政策の方向性較差と金利差拡大への思惑がドル円の上昇圧力として作用しやすい。

一方、エネルギー価格の上昇も相まって、輸入品の価格上昇に繋がる円安進行に対する懸念は高まりやすく、夏の参院選に向けた世論の動向次第では政府が一段の円安牽制対応をとる可能性もある。130円を越える水準では為替介入への警戒が高まり、徐々にドル円の上値を抑制しよう。5月のドル円相場は高値警戒感を意識しつつも、内外金利の拡大を背景に上値余地を試す展開を予想する。

### ユーロ



ユーロドル



ユーロドルは下落

1.02 – 1.12ドル

ユーロ円



ユーロ円は上昇

132.00 – 142.00円

#### 目先は対USDで下落圧力も、ECBの正常化期待が高まる過程で底入れを模索

4月のEUR相場は対USDでは下落、対JPYでは上昇した。FRBの金融引き締め観測が一段と高まる一方、日銀が現行の緩和政策継続を明確にしており、USD高JPY安圧力が高まったことが背景。注目されたフランス大統領選挙は現職のマクロン氏が勝利したことにより、相場への影響は限定的となった。

5月についても引き続きUSD高JPY安の動きが継続しやすい。一方、ECB高官が7月～9月の利上げの可能性に言及する等、ECBの利上げ期待が再び高まりつつある。フランス大統領選でマクロン氏が中盤まで苦戦した要因として、米国同様、大幅な物価上昇に対する国民の不満が背景にあるものと考えられる。目先の市場の関心としてはFRBの対応が最も注目度が高く、当面はUSD高地合いの継続が予想されるが、ECBの金融正常化期待が高まっていく過程では、徐々にEUR相場の対USDでの底入れが模索され、対JPYでの一段の上昇余地を探る展開となろう。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

© 注意事項をよくお読み下さい

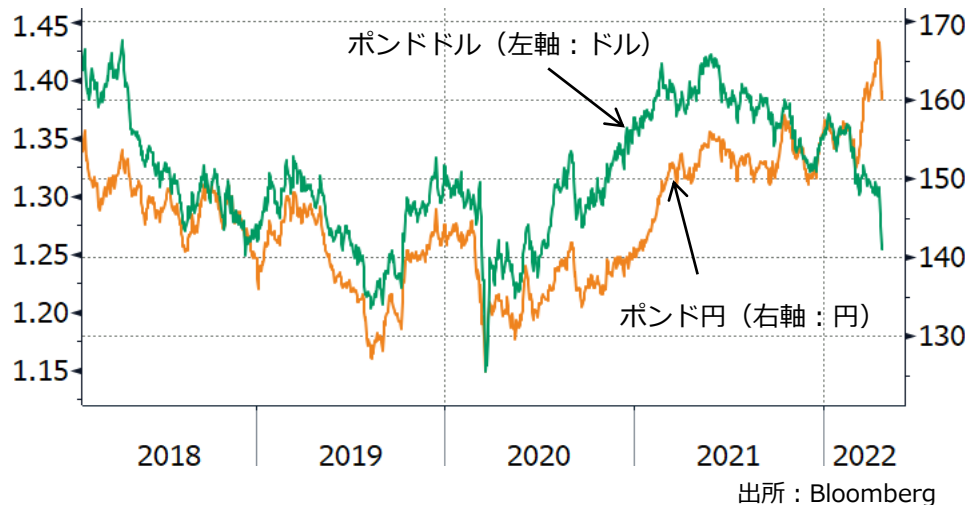


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ 今月の相場見通し② 為替 (ポンド・豪ドル・NZドル)

### ポ ン ド



ポンドドル



ポンドドルは下落

1.23- 1.27ドル

ポンド円



ポンド円は上昇

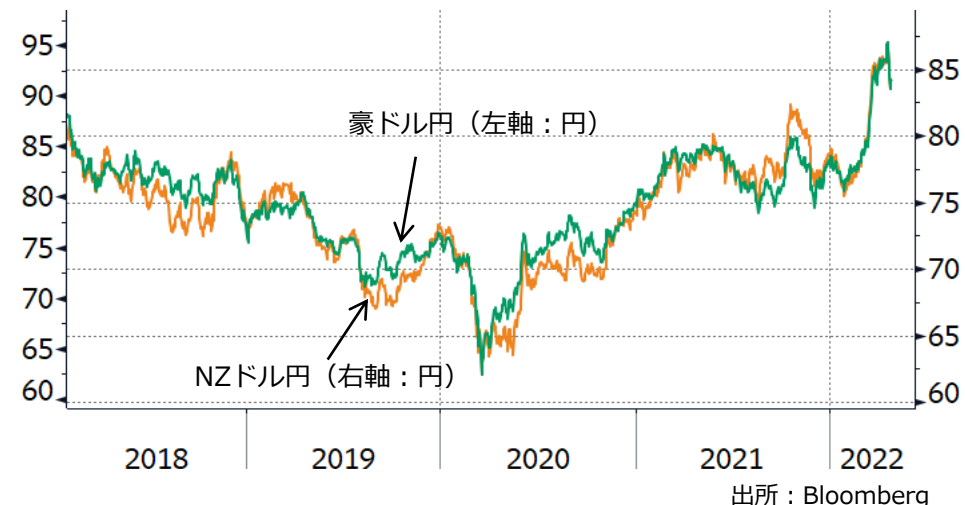
157.50 - 165.00円

#### 米国との相対的な経済見通し劣勢でポンド売りは継続

4月のポンドは対ドルで下落、対円で上昇となった。良好な雇用状況や30年ぶりの高い伸び率を記録したCPIを受け、5月のBOEでは利上げが確実視されているが、ロシアとウクライナの停戦交渉難航やFRBのタカ派姿勢が強まっていることでドルが買われ、ポンドはじわりと下落。下旬に入ると、下振れした小売を受け、経済成長懸念が強まり、中国のロックダウン拡大懸念によるリスクオフモードも相まってポンドは1.25台まで売られた。

5月のポンドは対ドルで下落、対円で上昇を予想。FOMC通過後の安心感や中国のコロナ感染状況の落ち着きからポンドに一定の買い戻しが入ると予想。その後は英国の経済先行きへの懸念やウクライナ情勢の不透明感からポンドが軟調に推移するだろう。5月のBOEでの利上げは織り込み済みで、市場影響は限定的とみるが、経済見通しに関する言及に注意したい。対円では日銀の緩和継続姿勢から引き続き上昇しやすいとみる。

### 豪 ド ル ・ N Z ド ル



豪ドル円



豪ドル円は上昇

89.00 - 95.00円

NZドル円



NZドル円は上昇

82.00 - 87.00円

#### 中国景気先行き懸念後退でオセアニア通貨は対円で再び騰勢を強める

4月の豪ドル円は上昇、NZドル円は下落。月初のRBA会合では政策金利が予想通り据え置かれたが、声明文で「忍耐強い対応を続ける」との文言が削除されたことを受け、豪ドルは買われた。しかし、その後、主要都市ロックダウンによる中国景気減速懸念やFRBの金融引き締め加速観測を背景に、対ドルで大きく下落した。NZドルはNZ準備銀行の予想外的大幅な利上げを受け買われる場面があったが、中国を中心とした世界景気減速懸念から軟調に推移した。

5月から中国の経済活動がコロナ感染状況の改善とともに回復すると見ており、豪ドルとNZドルのサポート材料となるだろう。豪州の1-3月CPIは予想を上回る結果で利上げ観測も高まるなか豪ドルの上昇材料。FOMCを経てドル買いも一巡すると、豪ドルとNZドルは対ドルで買い戻されやすく、日銀の緩和継続姿勢から金利面では対円で優位性が維持され、豪ドル円・NZドル円は上昇を予想する。

© 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



© 注意事項をよくお読み下さい

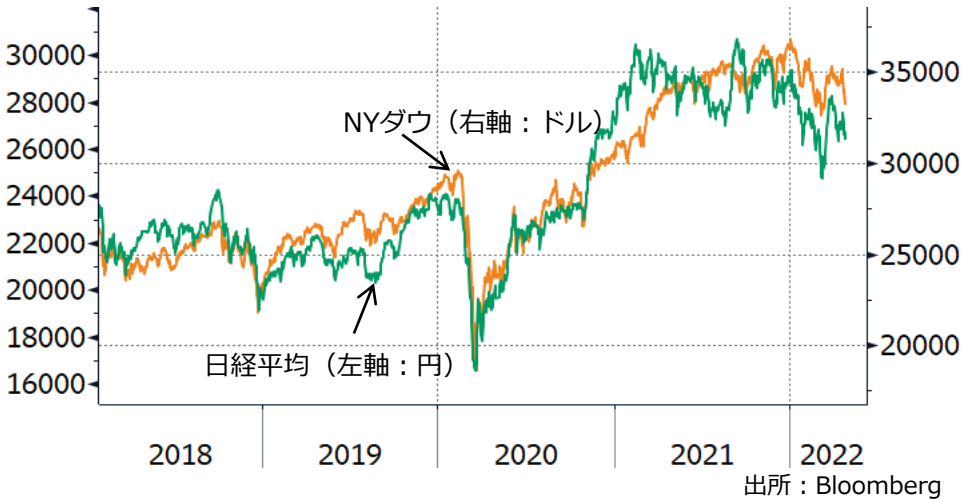


# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ 今月の相場見通し③ 株式、長期金利

### 株 式 見 通 し



日経平均



日経平均は下落

**25,000 – 28,000円**

#### 海外株価の軟調推移や“悪い円安”論が日本株の上値を押さえる

4月の日経平均株価は27,000を挟んで上値の重い展開となった。為替市場での約20年振りとなる円安進行はグローバル企業を中心に業績改善期待に繋がりがやすいが、足元では政府の円安警戒トーンもあり、“悪い円安”論が台頭。円安の負の側面が意識されやすい環境にあり、株式市場では円安を好感できていない。FRBの急速な金融引き締めは米国株の重石となる可能性が高く、日本株も上値を押さえられやすい。

NYダウ



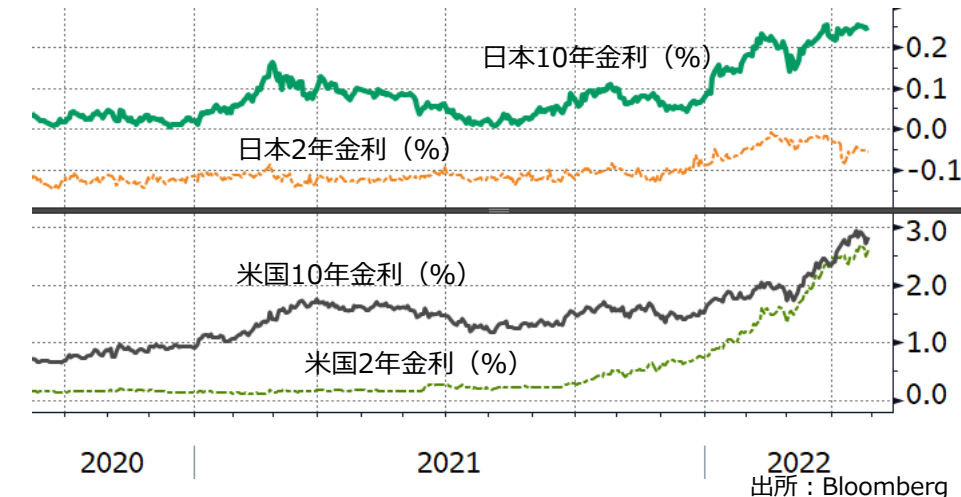
ダウは下落

**32,000 – 35,000ドル**

#### FRBの金融引き締め加速やウクライナ情勢の長期化が株式市場の重石に

4月の米国株市場は好調な決算発表結果を受け上昇する場面も見られたが、ウクライナ情勢の悪化やFRBの金融引き締め観測の一段の高まりを受け上値重く推移した。FRBは5月以降、大幅な連続利上げやQT（B/S縮小）を開始する可能性が高く、金融環境の急速な引き締めは株式市場の重石となりやすい。

### 長 期 金 利 見 通 し



日本国債10年



金利は低下

**0.15 – 0.25%**

#### 日銀は「連続指値オペの運用の明確化」にて事実上の金利抑制策を強化

4月の国内長期金利はYCCにおける変動幅の上限である0.25%に一時到達した。海外金利の上昇が国内にも波及し、日銀が連続指値オペ実施する展開となった。足元での大幅な円安進行を警戒する声もあるが、黒田総裁は円安は日本経済にプラスとの見方を変えておらず、日銀は「連続指値オペの運用の明確化」を決定し、事実上金利上昇抑制措置を強化している。指値オペの長期化により国債需給は逼迫しており、当面は買い戻し圧力で金利は低下しやすい。

米国債10年



金利は上昇

**2.60 – 3.10%**

#### FRBの引き締め加速で上昇圧力。物価指標への注目度が一段と高まる

4月の米長期金利はFRBの金融引き締め観測の更なる高まりを受け、一時2018年12月以来となる2.97%まで一段と上昇した。5月FOMCでは0.5%の利上げとQT（B/S縮小）の決定がコンセンサス化しつつあり、6月のドットチャート（政策金利見通し）の見直しに向け、金融引き締めに対する思惑が高まりやすい。一方、4月に公表された米コアCPI（消費者物価指数）にはピークアウトの兆しも見られ、今月の公表結果は従来以上に注目度が高い。

© 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ 今月の相場見通し④ 新興国通貨 (アジア)

|        |          | 4/27   |   | 4月の相場推移       |   | 5月の予想         | 解説                                                                                                                                                                                        |
|--------|----------|--------|---|---------------|---|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中国     | 人民元/円    | 19.48  | ➡ | 19.15~20.17   | ➡ | 19.20~20.00   | 4月のドル人民元相場は米中金利差の逆転や中国主要都市ロックダウンによる景気減速懸念から急騰し、一時6.6を上回る場面があった。対円レートは円安進行により20円台に乗せた後、上昇幅を縮小。今月は中国のコロナ感染状況の改善と景気支援策の期待から人民元は買い戻されるとみる。FOMC通過後のドル高の一服もドル人民元を押し下げたろう。                       |
|        | ドル/人民元   | 6.587  | ➡ | 6.350~6.609   | ➡ | 6.50~6.70     |                                                                                                                                                                                           |
| タイ     | バーツ/円    | 3.737  | ➡ | 3.653~3.828   | ➡ | 3.50~3.85     | 4月のバーツ相場は対ドルで3%弱の下落、対円では円安主導でバーツ円は上昇した。FRBの引き締め加速が意識され新興国通貨は全面安となる中で、中国ゼロコロナ政策によるアジア圏の景気鈍化懸念も意識された。一方で観光再開見通しによるタイ経済への期待は下支え要因。5月FOMCをこなしてドル高圧力は徐々に一服とみるが、引き続きバーツ安要因は熾りドルバーツは強含み。         |
|        | ドル/バーツ   | 34.32  | ➡ | 33.32~34.40   | ➡ | 33.5~35.0     |                                                                                                                                                                                           |
| インドネシア | 100ルピア/円 | 0.891  | ➡ | 0.847~0.902   | ➡ | 0.870~0.910   | 4月のドルルピアは月末に急上昇（ルピア安）。中国のゼロコロナ政策の影響が懸念されたほか、パーム油の輸出禁止措置による輸出減が懸念された。ルピア円は円安主導で一時2015年以来の0.90円/100ルピア台に乗せた。米金融引締めは新興国通貨には重石となりやすいが、高インフレ対応からインドネシア中銀の低金利継続姿勢にも変化が生じつつあり、ドルルピアはもみ合いを予想。     |
|        | ドル/ルピア   | 14,422 | ➡ | 14,275~14,415 | ➡ | 14,300~14,600 |                                                                                                                                                                                           |
| インド    | ルピー/円    | 1.678  | ➡ | 1.618~1.685   | ➡ | 1.65~1.75     | 4月のドルルピー相場は上昇（ルピー安）したものの、新興国通貨が軒並み下げの中で3月末比▲1%程度と小幅な動きに留まった。ウクライナ情勢やそれに伴う原油高、米金融引締めが重石となる一方で景気回復期待が相場の支え。ルピー円は円安加速で1.6台後半の水準に。インフレ加速していることで、インド中銀は先行きでの利上げも視野に入る。FOMC等をこなして堅調推移すると予想。     |
|        | ドル/ルピー   | 76.53  | ➡ | 75.31~76.77   | ➡ | 75.00~77.50   |                                                                                                                                                                                           |
| 韓国     | 100ウォン/円 | 10.144 | ➡ | 10.01~10.46   | ➡ | 9.70~10.30    | 4月のウォン相場は対ドルで一方向に下落。月末にかけ、中国の経済制限拡大への懸念により、リスクオフ地合いとともに韓国経済への影響も懸念されたことで、ウォン安基調が強まった。対円では月前半に円安圧力強く10.5円/100ウォン近辺まで上値を試したが、その後はウォン安主導で大きく値を切り下げた。今月もウォン安続くとみるが、5月FOMC、中国動向見極め月後半には一服を見込む。 |
|        | ドル/ウォン   | 1,265  | ➡ | 1,210~1,266   | ➡ | 1,240~1,300   |                                                                                                                                                                                           |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

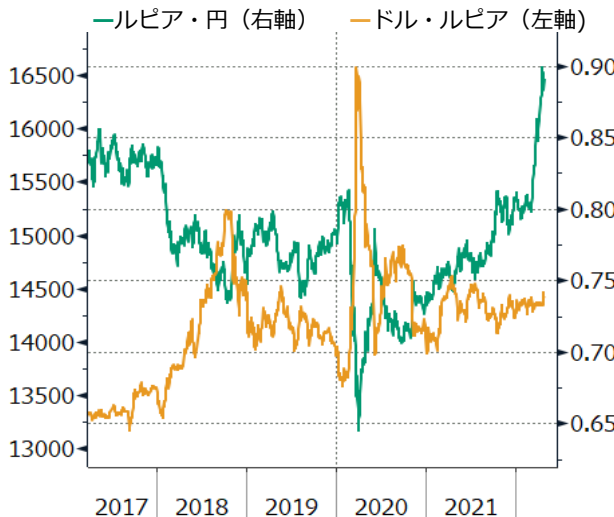
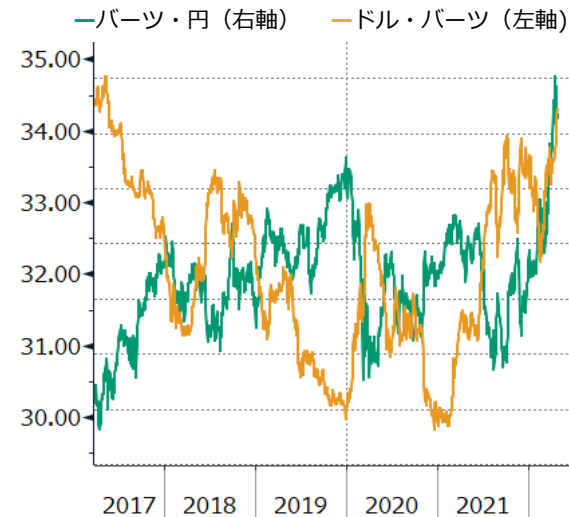
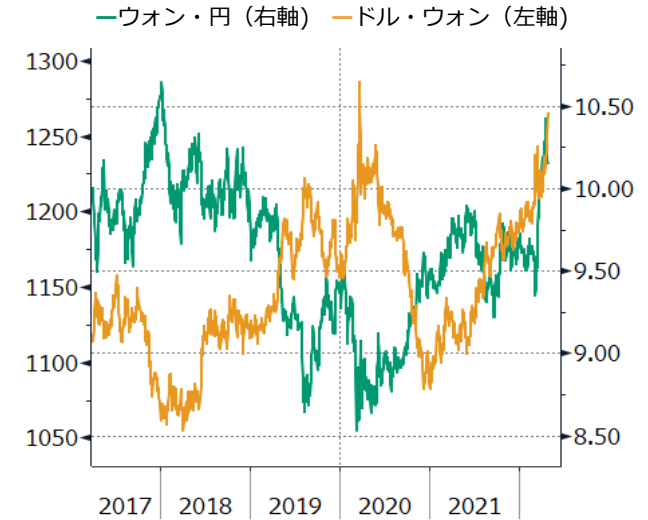
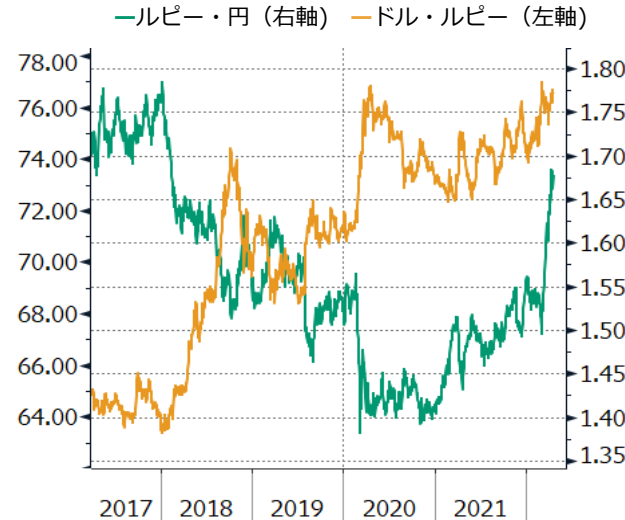
◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ 新興国通貨チャート



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

© 注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ 年間為替見通し

|        |     | 2022年      |           |           | 2023年     | ポイント                                                                                             |
|--------|-----|------------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |     | 5～6月       | 7～9月      | 10～12月    | 1～3月      |                                                                                                  |
| ドル円    | レンジ | 115～135    | 114～126   | 112～124   | 110～122   | 急ピッチな金融正常化で年前半底堅く推移も、年後半はFRB対応一服と中間選挙の不透明感が上値抑える                                                 |
|        | 期末値 | 122        | 120       | 118       | 116       |                                                                                                  |
| ユーロドル  | レンジ | 1.00～1.15  | 1.00～1.20 | 1.12～1.25 | 1.10～1.25 | FRBが金融正常化を先行させるなか、地政学リスクの高まりがEURの重石に。一方、年後半はFRBの対応が一服するなか、代わってECBが正常化サイクルに入る可能性があり、EURの反転上昇を見込む。 |
|        | 期末値 | 1.12       | 1.13      | 1.18      | 1.16      |                                                                                                  |
| ユーロ円   | レンジ | 126～145    | 125～145   | 130～150   | 125～145   | ウクライナ情勢の不透明感が続く中、英国経済減速懸念がポンドの重石となる。FRBのタカ派姿勢が消化された後、対ドルで買い戻される場面もある。年後半は米政治の不透明感から上値が再び重くなると予想。 |
|        | 期末値 | 137        | 136       | 139       | 135       |                                                                                                  |
| ポンドドル  | レンジ | 1.20～1.35  | 1.28～1.38 | 1.28～1.35 | 1.27～1.34 | コロナ規制一服すると人民元も一旦は買い戻されるとみるが、その後は景気減速や米金融引締め加速を受けて徐々に対ドル軟化とみる。22年後半からインフラ建設強化や経済回復で元は持ち直すと予想。     |
|        | 期末値 | 1.28       | 1.33      | 1.31      | 1.30      |                                                                                                  |
| ポンド円   | レンジ | 150～170    | 145～165   | 144～160   | 139～159   | 豪州も年央以降の利上げ意識され、日銀との金融政策格差で上昇も年後半はピークアウト。                                                        |
|        | 期末値 | 156        | 160       | 155       | 150       |                                                                                                  |
| ドル人民元  | レンジ | 6.30～6.80  | 6.40～6.75 | 6.40～6.75 | 6.40～6.75 | タイバーツに資源高はマイナス影響も、円安圧力も強く当面バーツ円は堅調。年後半ドル円に連れ安。                                                   |
|        | 期末値 | 6.70       | 6.60      | 6.55      | 6.50      |                                                                                                  |
| 人民元円   | レンジ | 18.0～20.0  | 17.4～19.4 | 17.2～19.2 | 17.2～19.0 |                                                                                                  |
|        | 期末値 | 18.6       | 18.2      | 18.2      | 18.1      |                                                                                                  |
| 豪ドル円   | レンジ | 85.0～100.0 | 85.0～97.0 | 84.0～96.0 | 80.0～92.0 |                                                                                                  |
|        | 期末値 | 93.0       | 90.0      | 89.0      | 86.0      |                                                                                                  |
| タイバーツ円 | レンジ | 3.45～3.85  | 3.35～3.80 | 3.25～3.65 | 3.20～3.60 |                                                                                                  |
|        | 期末値 | 3.60       | 3.50      | 3.40      | 3.40      |                                                                                                  |

## © 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎ 注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## ◆ マーケットカレンダー

|                | 日本                                              | 米国                                                  | その他            |
|----------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------|
| 5/2(月)         |                                                 | 4月ISM製造業景況指数                                        |                |
| 5/3(火) (憲法記念日) |                                                 | 3月製造業受注                                             | (露) 準備銀行理事会    |
| 5/4(水) (みどりの日) |                                                 | 3月貿易収支<br>4月ADP雇用統計<br>4月ISM非製造業景況指数<br>FOMC (結果発表) |                |
| 5/5(木) (こどもの日) |                                                 |                                                     | (英) BOE金融政策委員会 |
| 5/6(金)         |                                                 | 4月雇用統計                                              |                |
| 5/8(日)         |                                                 |                                                     | (中) 4月貿易統計     |
| 5/9(月)         | 3月毎月勤労統計 (速報)<br>日銀金融政策決定会合議事要旨<br>(3/17~18開催分) |                                                     |                |
| 5/10(火)        | 10年債入札<br>3月家計調査                                | 3年債入札                                               | (独) 5月ZEW景況指数  |
| 5/11(水)        |                                                 | 10年債入札<br>4月CPI                                     | (中) 4月CPI      |
| 5/12(木)        | 30年債入札<br>4月景気ウォッチャー調査                          | 30年債入札<br>4月PPI                                     |                |
| 5/13(金)        |                                                 |                                                     |                |

|         | 日本                          | 米国                              | その他                |
|---------|-----------------------------|---------------------------------|--------------------|
| 5/16(月) | 4月企業物価指数                    | 5月NY連銀製造業景況指数                   | (中) 4月生産・小売・投資     |
| 5/17(火) |                             | 4月小売売上高                         | (欧) 1-3月期GDP (速報値) |
| 5/18(水) | 1-3月期GDP (一次速報値)<br>5年債入札   | 20年債入札<br>4月住宅着工・許可件数           |                    |
| 5/19(木) | 3月機械受注<br>4月貿易統計            | 4月中古住宅販売<br>5月フィラデルフィア連銀製造業景況指数 |                    |
| 5/20(金) | 20年債入札<br>4月消費者物価指数         |                                 |                    |
| 5/23(月) |                             |                                 | (独) 5月IFO企業景況感指数   |
| 5/24(火) |                             | 2年債入札<br>4月新築住宅販売               | (欧) 5月PMI (速報値)    |
| 5/25(水) |                             | 5年債入札<br>FOMC議事要旨               |                    |
| 5/26(木) | 40年債入札                      | 1-3月期GDP (改定値)<br>7年債入札         |                    |
| 5/27(金) |                             | 4月個人所得・消費支出                     |                    |
| 5/30(月) |                             | (戦没者祈念日)                        |                    |
| 5/31(火) | 2年債入札<br>4月鉱工業生産<br>4月労働力調査 | 5月消費者信頼感指数                      | (中) 5月PMI          |



### ◎ 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



◎ 注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## 中国主要経済指標

&lt;月次データ&gt;

| 項目       | 単位     | 2021/5  | 2021/6  | 2021/7  | 2021/8  | 2021/9  | 2021/10 | 2021/11 | 2021/12 | 2022/1  | 2022/2  | 2022/3  |
|----------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 実質GDP成長率 | %      | -       | 7.9     | -       | -       | 4.9     | -       | -       | 4.0     | -       | -       | 4.8     |
| 消費者物価上昇率 | %      | 1.3     | 1.1     | 1.0     | 0.8     | 0.7     | 1.5     | 2.3     | 1.5     | 0.9     | 0.9     | 1.5     |
| 都市部調査失業率 | %      | 5.0     | 5.0     | 5.1     | 5.1     | 4.9     | 4.9     | 5.0     | 5.1     | -       | 5.5     | 5.8     |
| 輸出額      | 10億ドル  | 263.6   | 281.0   | 282.3   | 294.0   | 305.3   | 299.6   | 324.8   | 340.4   | 327.3   | 217.5   | 276.1   |
| 輸入額      | 10億ドル  | 220.4   | 230.9   | 226.4   | 234.8   | 237.3   | 214.8   | 253.0   | 246.2   | 242.2   | 187.0   | 228.7   |
| 経常収支     | 100万ドル | -       | 116,375 | -       | -       | 198,934 | -       | -       | 317,301 | -       | -       | 89,500  |
| 外貨準備高    | 10億ドル  | 3,221.8 | 3,214.0 | 3,235.9 | 3,232.1 | 3,200.6 | 3,217.6 | 3,222.4 | 3,250.2 | 3,221.6 | 3,213.8 | 3,188.0 |
| 主要政策金利   | %      | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    | 4.35    |
| 対ドル為替レート | 人民元    | 6.42    | 6.43    | 6.48    | 6.48    | 6.46    | 6.41    | 6.39    | 6.37    | 6.36    | 6.34    | 6.35    |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：1年物貸出基準金利

出所：Bloomberg

※ 今号の「中国の景気動向」「上海からティータイム」は上海ロックダウンの影響でお休みとなります。



## ◎ 注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

## タイの景気動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

◆タイ中央銀行が発表した2022年2月の経済報告によれば、タイ経済は回復基調にあると評価した。いくつかの不透明要因がある中で輸出と観光業が景気を支えた。2月1日から新型コロナウイルスワクチン接種済み等を条件に隔離なしの入国制度「テスト・アンド・ゴー」の効果が大きく、外国人旅行者の回復に寄与した。民間消費指数は前年同月比2.3%上昇した。旅行者の支出が5.7倍と大幅に伸びたほか、サービスと消費財が二桁増加した。民間投資指数は同4.3%上昇したものの、機械・設備投資、建設資材の販売は減少した。鉱工業生産指数は同2.75%増。公共支出も前年同月比増加した。

◆タイ商務省によると、2022年2月の輸出額は前年同月比16.2%増の234億8,310万米ドル、12カ月連続で前年同月比を上回った。世界的な需要の回復に加え、コンテナ不足問題が緩和されたこと等が挙げられた。国別では、米国向けが最多（前年同月比27.2%増）。次いで、中国（同3.0%増）と日本（同2.6%増）の順。2月の輸入額は同16.8%増の233億5,980万米ドルで、貿易収支は1億2,330万米ドルの黒字となった。2022年1～2月の

輸出額は前年同期比12.2%増の447億4,170万米ドルだった。一方、2月の対米ドル・バーツ相場は平均で1米ドル＝32.65バーツで、前月の33.22バーツからバーツ高となった。

◆タイ中央銀行は30日、タイの2022年の経済成長率（GDP）予測を昨年12月予測の3.4%から3.2%に下方修正した。ロシアによるウクライナ侵攻と、ロシアに対する国際的な経済制裁を背景としたエネルギー価格や物価上昇することや、一部産業での原材料不足の長期化、家計の生活費や企業の生産コストの上昇等がマイナス材料とみられる。また、一般消費者物価指数（CPI）の上昇率見通しを1～3%から4.9%に上方修正した。

◆タイ商務省が発表した3月の一般消費者物価指数（CPI）は、前年同月比5.73%上昇した。ウクライナ情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰により、上昇幅は前月の同5.28%からさらに加速した。食品・飲料が同4.56%上昇、非食品が同6.56%上昇。今年1～3月CPI平均値は前年同期比4.75%上昇。

## 主要経済指標

&lt;月次データ&gt;

| 項目       | 単位     | 2021/5 | 2021/6 | 2021/7 | 2021/8 | 2021/9 | 2021/10 | 2021/11 | 2021/12 | 2022/1 | 2022/2 | 2022/3 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 実質GDP成長率 | %      | -      | 7.7    | -      | -      | -0.2   | -       | -       | 1.9     | -      | -      | -      |
| 消費者物価上昇率 | %      | 2.4    | 1.3    | 0.5    | -0.0   | 1.7    | 2.4     | 2.7     | 2.2     | 3.2    | 5.3    | 5.7    |
| 失業率      | %      | 2.0    | 1.9    | 1.9    | 1.9    | 2.3    | 2.3     | 2.3     | 1.6     | 1.6    | 1.6    | -      |
| 輸出額      | 100万ドル | 23,053 | 23,703 | 22,651 | 21,976 | 23,036 | 22,739  | 23,648  | 24,930  | 21,259 | -      | -      |
| 輸入額      | 100万ドル | 22,056 | 22,551 | 22,467 | 23,192 | 22,426 | 23,109  | 22,629  | 25,284  | 23,785 | -      | -      |
| 経常収支     | 100万ドル | -1,583 | -818   | -1,590 | -2,731 | -812   | -478    | 380     | -1,611  | -2,204 | -652   | -      |
| 外貨準備高    | 10億ドル  | 251.8  | 246.5  | 248.0  | 252.0  | 244.7  | 246.1   | 243.0   | 246.0   | 242.8  | 245.1  | 242.4  |
| 主要政策金利   | %      | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50   | 0.50    | 0.50    | 0.50    | 0.50   | 0.50   | 0.50   |
| 対ドル為替レート | バーツ    | 31.3   | 31.5   | 32.6   | 33.1   | 33.1   | 33.5    | 33.1    | 33.6    | 33.2   | 32.7   | 33.3   |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値 主要政策金利：タイ翌日物レボ金利

出所：Bloomberg

## ◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな マーケットフラッシュマンスリー & アジア・新興国FXフラッシュ

(2022年5月号)

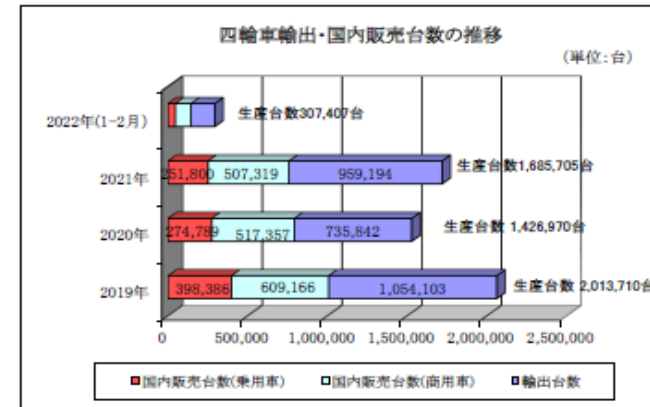
## タイにおける自動車産業の動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

### タイにおける自動車産業の動向

出所:タイ工業連盟 (FTI)

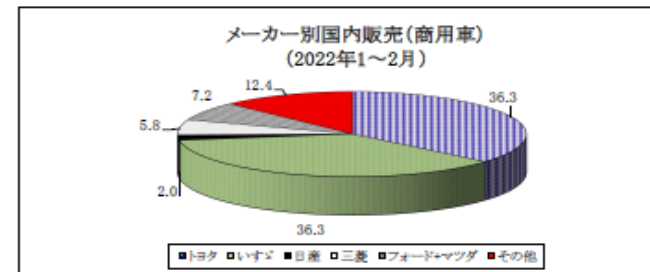
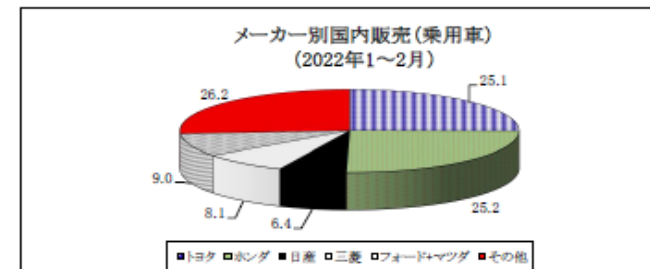
|           |           | 2019年     | 2020年     | 2021年     | 2022年<br>(1-2月) | 前年同期比<br>(%) | 2月     |        |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|--------------|--------|--------|
| 【台数】      |           | (台)       |           |           |                 |              |        |        |
| 四輪        | 生産台数      | 乗用車       | 804,340   | 542,437   | 599,844         | 87,133       | 77.6   | 41,89  |
|           |           | 商用車       | 1,209,370 | 884,533   | 1,085,861       | 220,274      | 115.3  | 113,76 |
|           |           | 合計        | 2,013,710 | 1,426,970 | 1,685,705       | 307,407      | 101.3  | 155,66 |
|           | 国内販売台数    | 乗用車       | 398,386   | 274,789   | 251,800         | 45,955       | 131.0  | 22,59  |
|           |           | 商用車       | 609,166   | 517,357   | 507,319         | 97,989       | 123.9  | 51,89  |
|           |           | 合計        | 1,007,552 | 792,146   | 759,119         | 143,944      | 126.1  | 74,48  |
| 輸出台数      | 1,054,103 | 735,842   | 959,194   | 149,284   | 97.2            | 79,45        |        |        |
| 二輪        | 生産台数      | 1,948,480 | 1,615,319 | 1,780,654 | 310,767         | 93.0         | 141,59 |        |
|           | 国内販売台数    | 1,718,587 | 1,516,096 | 1,606,481 | 294,219         | 110.7        | 149,12 |        |
|           | 輸出台数      | 948,839   | 727,152   | 965,967   | 177,047         | 105.5        | 91,18  |        |
| 【完成車輸出金額】 |           | (百万バーツ)   |           |           |                 |              |        |        |
| 四輪        |           | 545,968   | 410,912   | 561,147   | 88,312          | 104.5        | 45,53  |        |
| 二輪        |           | 69,933    | 85,802    | 75,985    | 12,739          | 76.5         | 6,17   |        |



### 【メーカー別国内販売台数】

出所:トヨタ自動車

|     |     | 2019年     | シェア<br>(%) | 2020年   | シェア<br>(%) | 2021年   | シェア<br>(%) | 2022年<br>(1-2月) | 前年同期比<br>(%) | シェア<br>(%) | 2月     |
|-----|-----|-----------|------------|---------|------------|---------|------------|-----------------|--------------|------------|--------|
| トヨタ | 乗用車 | 117,708   | 29.5       | 68,152  | 24.8       | 62,403  | 24.8       | 11,541          | 126.4        | 25.1       | 6,091  |
|     | 商用車 | 214,672   | 35.2       | 176,164 | 34.1       | 177,320 | 35.0       | 35,606          | 145.2        | 36.3       | 18,907 |
|     | 合計  | 332,380   | 33.0       | 244,316 | 30.8       | 239,723 | 31.6       | 47,147          | 149.1        | 32.8       | 24,998 |
| いすゞ | 乗用車 | 0         | 0.0        | 0       | 0.0        | 0       | 0.0        | 0               | 0.0          | 0.0        | 0      |
|     | 商用車 | 168,215   | 27.6       | 181,194 | 35.0       | 184,160 | 36.3       | 35,619          | 112.3        | 36.3       | 20,193 |
|     | 合計  | 168,215   | 16.7       | 181,194 | 22.9       | 184,160 | 24.3       | 35,619          | 112.3        | 24.7       | 20,193 |
| ホンダ | 乗用車 | 96,154    | 24.1       | 77,419  | 28.2       | 76,886  | 30.5       | 11,570          | 93.4         | 25.2       | 5,417  |
|     | 商用車 | 29,679    | 4.9        | 15,622  | 3.0        | 11,806  | 2.3        | 4,045           | 178.2        | 4.1        | 1,673  |
|     | 合計  | 125,833   | 12.5       | 93,041  | 11.7       | 88,692  | 11.7       | 15,615          | 106.6        | 10.8       | 7,090  |
| 日産  | 乗用車 | 35,809    | 9.0        | 27,120  | 9.9        | 19,790  | 7.9        | 2,943           | 87.8         | 6.4        | 1,459  |
|     | 商用車 | 28,605    | 4.7        | 17,438  | 3.4        | 9,906   | 2.0        | 1,949           | 142.1        | 2.0        | 925    |
|     | 合計  | 64,414    | 6.4        | 44,558  | 5.6        | 29,696  | 3.9        | 4,892           | 103.5        | 3.4        | 2,379  |
| 三菱  | 乗用車 | 38,879    | 9.8        | 22,363  | 8.1        | 18,456  | 7.3        | 3,729           | 141.7        | 8.1        | 1,756  |
|     | 商用車 | 49,365    | 8.1        | 35,046  | 6.8        | 28,732  | 5.7        | 5,709           | 131.8        | 5.8        | 2,848  |
|     | 合計  | 88,244    | 8.8        | 57,409  | 7.2        | 47,188  | 6.2        | 9,438           | 135.6        | 6.6        | 4,604  |
| その他 | 乗用車 | 109,836   | 27.6       | 79,735  | 29.0       | 74,265  | 29.5       | 16,172          | 213.7        | 35.2       | 7,867  |
|     | 商用車 | 118,630   | 19.5       | 91,893  | 17.7       | 95,395  | 18.7       | 15,061          | 101.3        | 15.5       | 7,358  |
|     | 合計  | 228,466   | 22.7       | 171,628 | 21.8       | 169,660 | 22.3       | 31,233          | 139.2        | 21.7       | 15,225 |
| 合計  | 乗用車 | 398,386   | 100.0      | 274,789 | 100.0      | 251,800 | 100.0      | 45,955          | 131.0        | 100.0      | 22,590 |
|     | 商用車 | 609,166   | 100.0      | 517,357 | 100.0      | 507,319 | 100.0      | 97,989          | 123.9        | 100.0      | 51,899 |
|     | 合計  | 1,007,552 | 100.0      | 792,146 | 100.0      | 759,119 | 100.0      | 143,944         | 126.1        | 100.0      | 74,489 |



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。